

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヤマトマルチチャーター株式会社 本社新築工事	階数	地上5F
建設地	京都市伏見区横大路芝生10番1他	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条地域	平均居住人員	445 人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2018年11月 予定	評価の実施日	2017年11月17日
敷地面積	14,243 m ²	作成者	藤原 康行
建築面積	7,435 m ²	確認日	2017年11月17日
延床面積	23,511 m ²	確認者	藤原 康行



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 77%
③上記+②以外の 77%
④上記+ 77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
Q1 室内環境 内装材において、F☆☆☆☆材料を積極的に採用している。	Q2 サービス性能 メンテナンスフリーの材料の採用、床材巻上げなどといった計画をしている。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル リサイクル材料を内装材(構造用合板(府内産木材)、塩ビシート、塩ビタイル、タイルカーペット)に採用。化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない内装材の接着剤を採用。	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される